

2007.7.10



# 今月の経済・金融情勢

## ～わが国をめぐる経済・金融の現状～

2007年7月

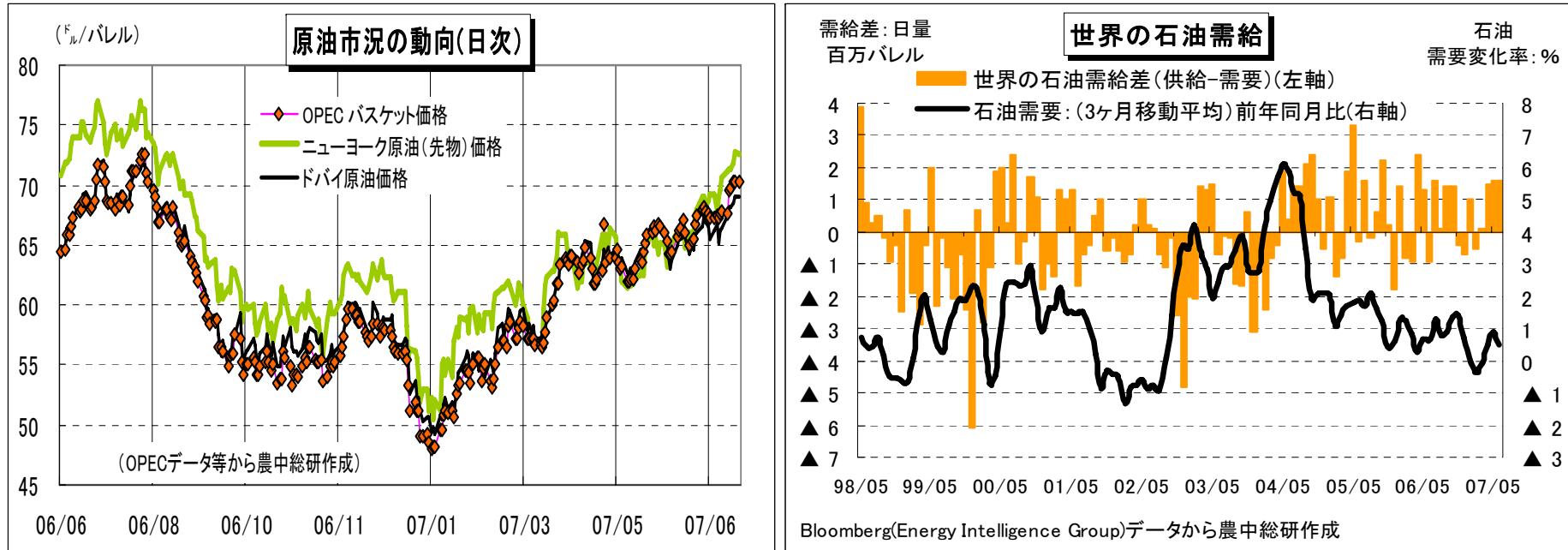
**農林中金総合研究所**

調査第二部 経済金融 I 班

<http://www.nochuri.co.jp/weekly/weekly.html>

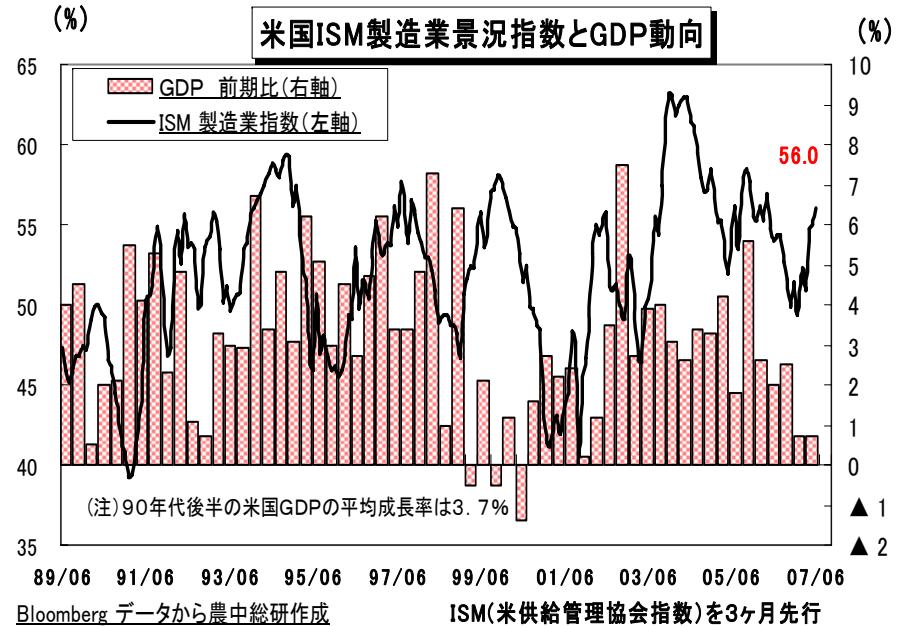
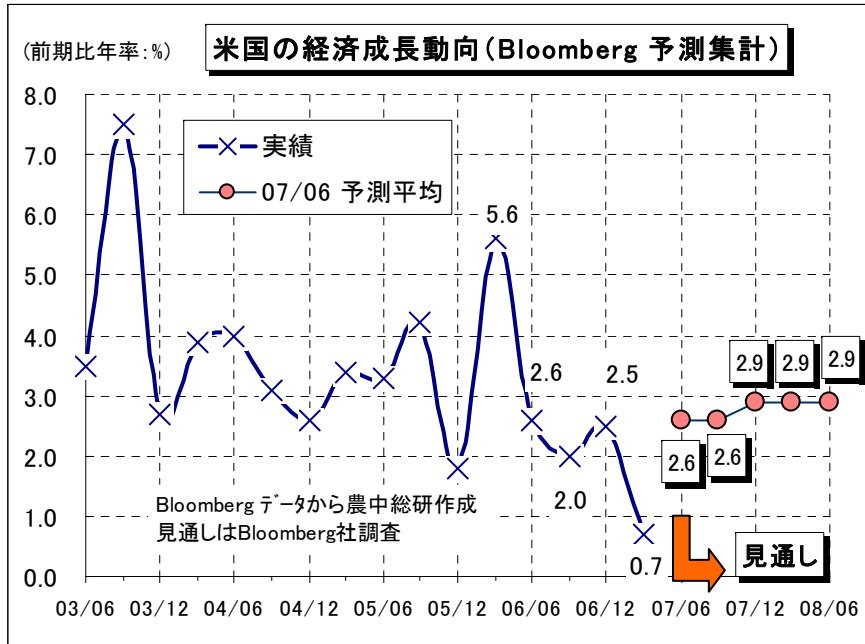
1. 原油市況は6月以降、米国での夏の行楽シーズン到来や製油所の相次ぐ閉鎖によるガソリン需給の逼迫懸念のほか、ナイジェリアの政情不安、中東情勢の悪化懸念などを背景に上昇基調で推移している。7月6日には72.81ドル/バレルと昨年8月以来の高値をつけた。当面は中東情勢の先行き不透明感やOPECによる高値維持スタンスのほか、中国・インドなど新興国の高成長による原油需要増加が持続していることもあり、原油価格の高止まりが予想される。
2. 米国の07年1～3月期の実質GDP成長率(確定値)は前期比年率+0.7%と4年ぶりの低水準となったが、雇用環境が良好で個人消費が堅調さを維持しているほか、外需や在庫投資の減少も持続する可能性は小さく、景気の先行き悲観材料とはなっていない。07年6月調査によれば、米国エコノミストは07年後半にかけて緩やかに成長が加速すると見込んでいる。一方、米政策金利は6月28日に8回連続で5.25%に据え置かれたが、米政策当局はインフレ警戒感を緩めておらず、当面は現状維持の政策が続くと考えられる。米長期金利は5月中旬に4.6%台まで低下した後、米景気の先行き不透明感が後退したことなどから、このところは5.1～5.2%台に上昇して推移している。ただし、住宅市場等への長期金利上昇の悪影響には注意が必要である。
3. わが国では、07年1～3月期の実質GDP成長率(第2次速報)が前期比+0.8%（同年率+3.3%）と、第1次速報の同+0.6%（同年率+2.4%）から上方修正され、9四半期連続のプラス成長となった。第1次速報でマイナスとなった設備投資はプラスに改定された。一方、足下5月の鉱工業生産は3ヶ月連続のマイナスとなったが、先行きは緩やかに増加する見通し。ただし電子部品・デバイス工業の在庫の積み上がりが引き続き懸念される。設備投資については、先行指標となる5月の機械受注(船舶・電力を除く民需)が2ヶ月連続で増加し、4～6月期は2四半期ぶりに前期比プラスとなる可能性が高まった。また日銀短観によれば、設備投資は大企業を中心に07年度も増勢が続く見通しとなっている。
4. 外為市場では、2月下旬に世界同時株安を背景に円キャリー取引解消の観測が強まつたことや米経済指標の弱含みなどから一時的に1ドル=115円台前半までドル安・円高が進行した。しかしその後は、内外金利差の縮小には時間がかかるとの見方から再び円安となった。このところは123円～124円台で推移。一方、日本の長期金利の目安である新発10年国債利回りは5月まで1.6%台を推移していたが、世界的な長期金利上昇の動きや追加利上げ前倒し観測の強まりから1.9%台に上昇。日経平均株価は米国株高やM&A期待などから1万8,000円の大台を回復した。
5. 政府は6月の「月例経済報告」で景気判断を「生産の一部に弱さがみられるものの、回復している」と2ヶ月連続で据え置き。個人消費を上方修正する一方、生産の判断を下方修正した。日銀は6月の景況判断を「緩やかに拡大」と判断を11ヶ月連続で据え置き。消費者物価(前年比)については「原油価格反落の影響などからゼロ%近傍で推移している」が、より長い目で見れば「プラス基調を続けていく」と見ている。

# 原油価格：中東情勢とテロ懸念などから、再上昇



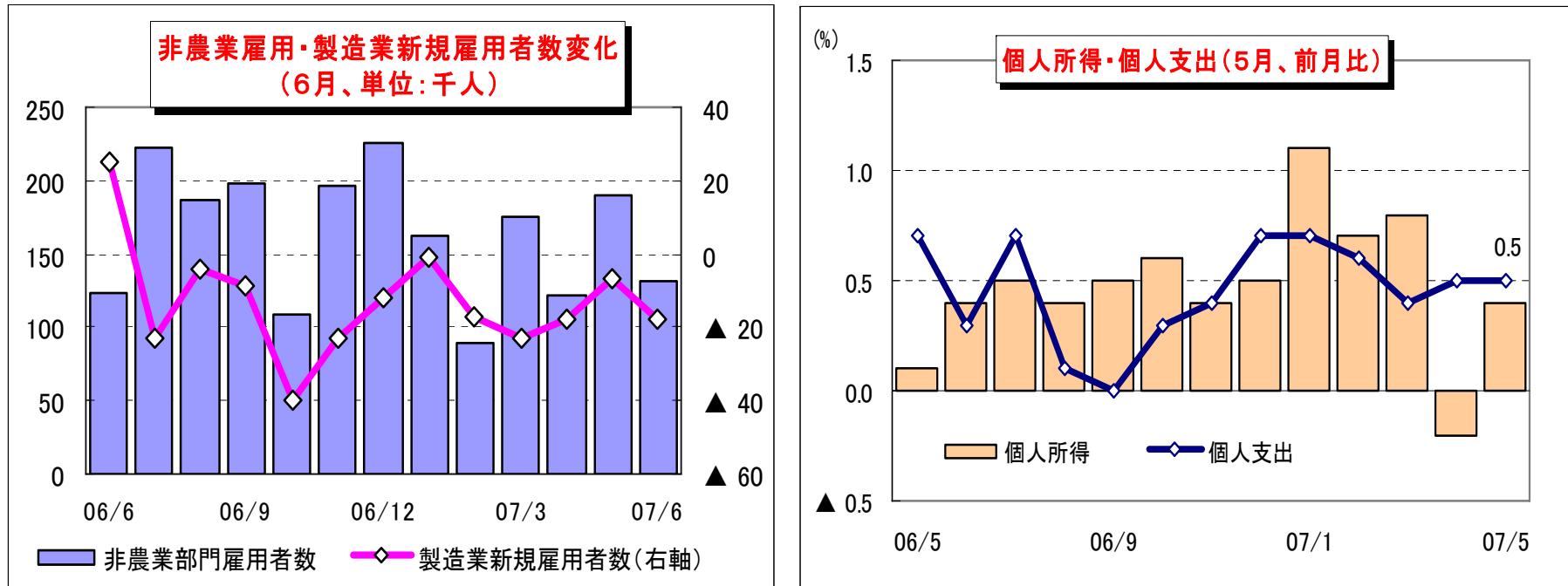
- ・ニューヨーク原油先物価格(WTI期近、終値)は、米国北東部で気温が高めに推移したことや石油在庫が増加したことなどから1月中旬に一時50ドル/バレルを下回ったが、その後は米国での気温低下やイラン核開発問題をめぐる同国と欧米諸国との緊張状態などから反転し、2月下旬以降は再び上昇基調で推移している。
- ・米国での夏場の行楽シーズン入りや相次ぐ製油所閉鎖、ナイジェリアでの政情不安や中東情勢の悪化懸念などで、ガソリン需給の逼迫懸念が高まり、6月以降は上昇傾向が強まった。また全米自動車協会(AAA)が「独立記念日の週に自動車旅行に出かける人は過去最高」との見通しを発表したことも相場を押し上げ、7月6日には06年8月中旬以来となる72.81ドル/バレルまで上昇した。
- ・当面は、①中国、インドなどの新興国の需要増加から中期的な需給引き締り観測、②OPECの高めの価格政策指向、③中東情勢とテロ懸念などから、原油価格の高止まりが予想される。

# 米国経済①：先行き年後半にかけて、緩やかに成長回復の見通し



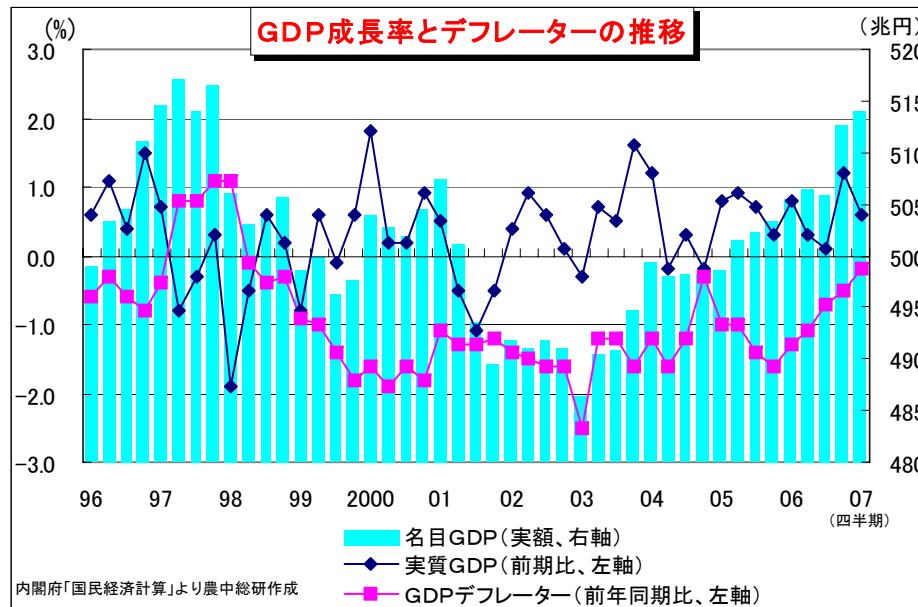
- ・米国の07年1～3月期の実質GDP(確報値)は前期比年率+0.7%と、改定値の同+0.6%から小幅上方修正された。ただし、1%割れは米同時テロの発生などに伴うデフレ懸念が広がった02年10～12月期(0.2%)以来約4年ぶり。
- ・ただし、07年6月調査では米国エコノミストは、07年後半にかけて緩やかに成長が加速すると見込んでいる。
- ・代表的な企業の景況感指標であり、景気先行指標でもある「全米供給管理協会(ISM)製造業指数」の6月分は56.0と前月の55.0から上昇。生産、新規受注が3ヶ月連続で改善。米製造業はこれまで在庫調整により低調な動きを続けてきたが、底打ちから回復への動きを強めつつある。

## 米国経済②：雇用環境は良好、個人消費は底堅さを維持



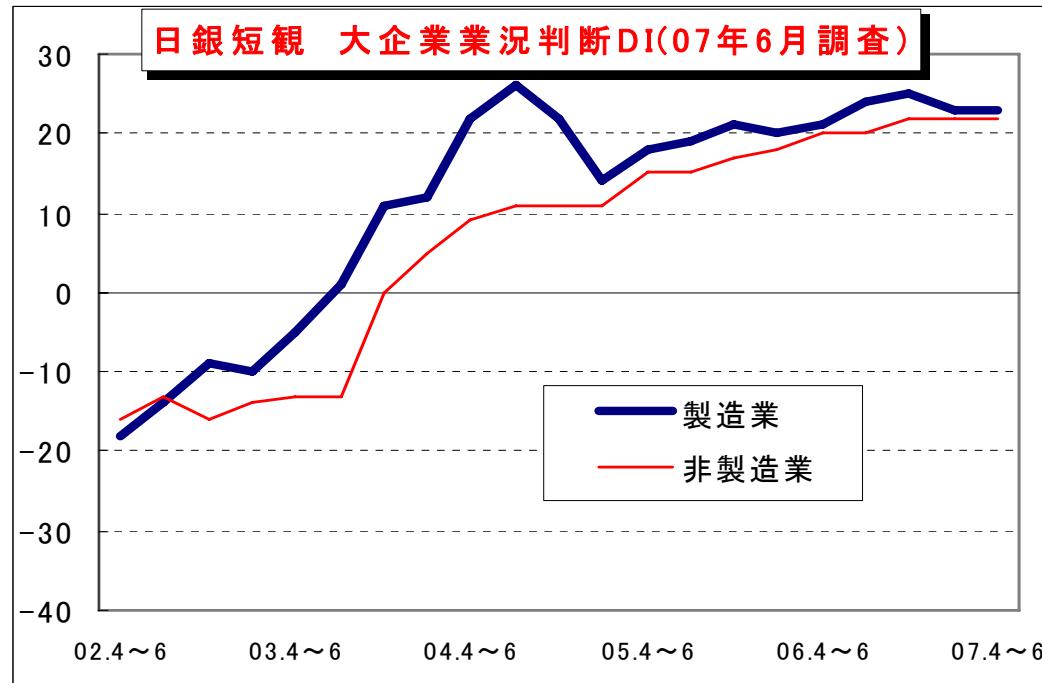
- 6月の米雇用統計発表では、非農業部門雇用者数が市場予想を上回る+132千人増。うち、製造業 ( $\Delta 18$ 千人) が減少した一方、非製造業は+135千人と増勢を維持。製造業の悪化を非製造業がカバーする傾向が続いている。6月の週平均労働時間数は33.9時間(前月は33.8時間)に増加し、平均時給は前月比+0.3%の17.38ドルと伸びが拡大した。
- 5月の個人所得は前月比+0.4%と4月の同 $\Delta 0.1\%$ から再びプラスに転じた。個人消費支出は同+0.5%と前月と同じ伸びだった。個人消費をめぐる環境は総じて好調さを維持しており、良好な雇用・所得環境が消費支出の拡大を促していると考えられる。ただし、エネルギー価格高騰の影響で消費者が支出を抑制する可能性もあり、注意が必要。

# 国内の経済成長率：9四半期連続のプラス成長



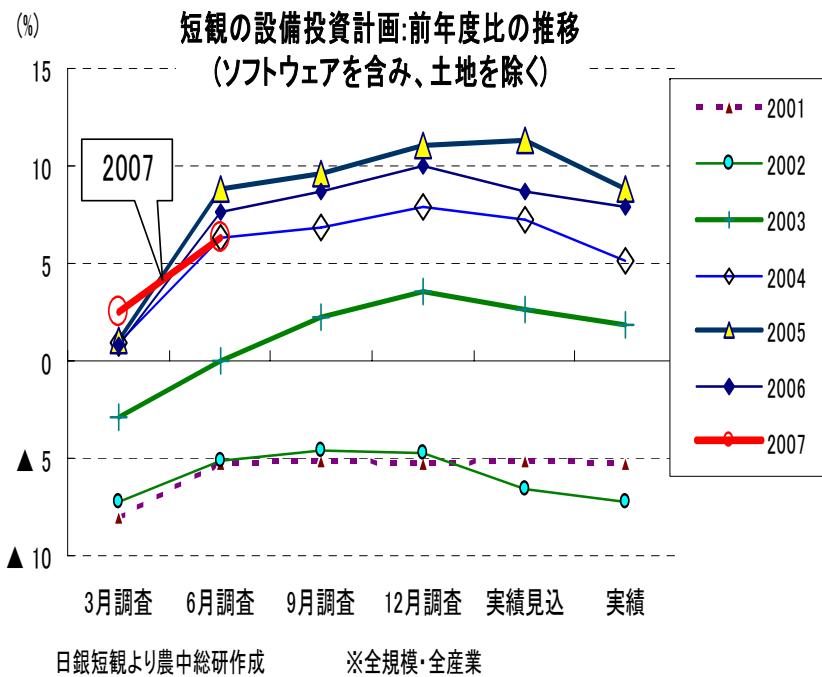
- 07年1～3月期の実質GDP成長率(2次速報)は、前期比+0.8%(前期比年率+3.3%)と1次速報から+0.2%pt上方修正。
- 1～3月期の法人企業統計季報で、設備投資(除くソフトウェア)が季調済前期比+2.8%となったことを受け、設備投資が同▲0.9%から+0.3%へ上方修正された。これにより、設備投資は5四半期連続のプラスとなった。
- 一方、ホームメイド・インフレを示すとされるGDPデフレーターは、前年同期比▲0.3%と▲0.1%pt下方修正されたが、07年度中に前年比マイナスから脱却する可能性は高い。
- 先行きは、07年も世界経済が底堅い成長を持続する見通し(IMF等)であることから、年後半からの米国経済の緩やかな再加速に伴い、日本経済も同様の動きになると予想される。

# 国内企業の景況感：短観6月調査は横ばい



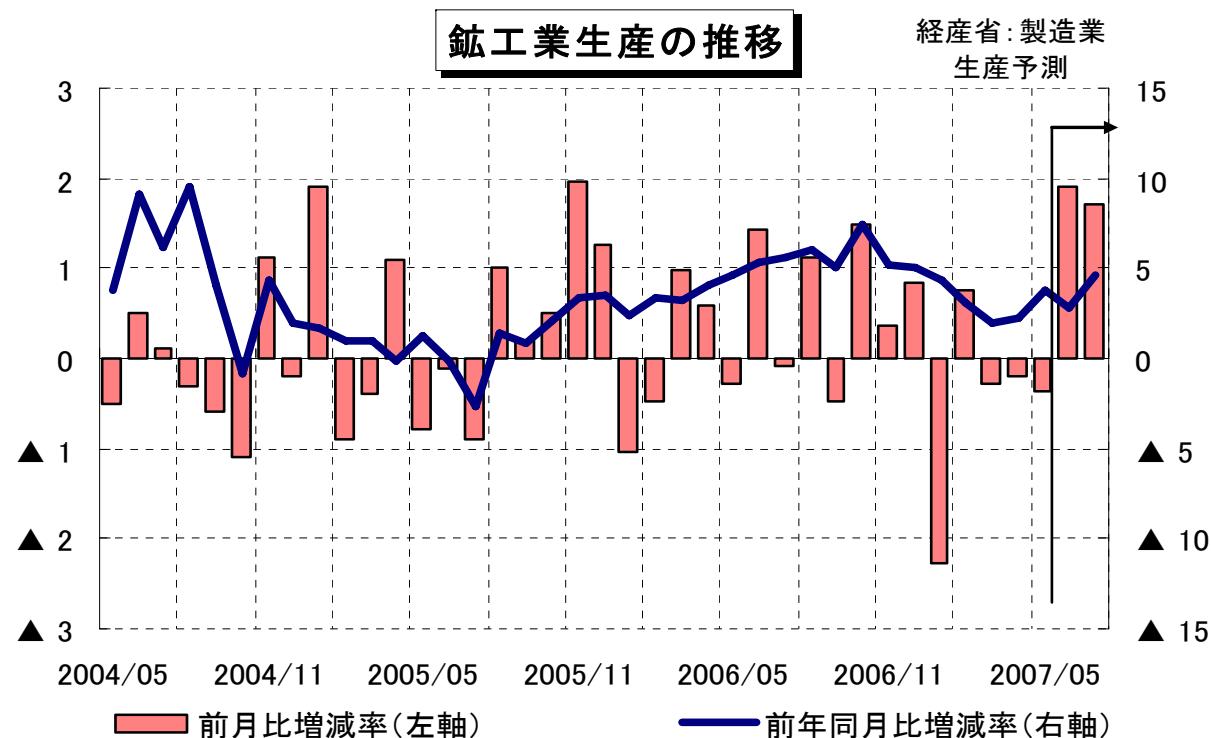
- 07年6月調査では、業況判断DIが大企業製造業で+23と、前回3月調査から横ばい。短観の業況判断DIはすでに高い水準にあったため、これまで改善幅は緩やかなものにとどまる傾向にあったが、今回は横ばいとなった。直前の素原材料価格や長期金利の上昇の悪影響が懸念されたが、大きな下押し圧力にはならなかった。
- 大企業製造業の想定為替レートは114.4円/ドルと現状より大幅に円高を想定。
- 大企業非製造業も+22と前回調査と変わらず。
- 先行きは大企業製造業が▲1ポイント悪化する一方、非製造業は+1 ポイント改善する見通し。

# 国内の設備投資：「短観」の07年度設備投資計画は上方修正



- ・日銀短観(6月調査)の07年度設備投資計画(ソフトウェアを含み、土地を除くベース)は、前年度比+6.3%。3月調査(同+2.5%)から3.8%pt上方修正された。
- ・土地を含むベースは、同+3.1%と3月調査(▲0.3%)から3.4%pt上方修正されている。過去2年間に比べると、修正幅は低めであるが、企業業績が底堅く推移しており、中小企業が先行き上方修正される可能性を考えれば投資意欲は引き続き底堅いと思われる。
- ・一方、設備投資の先行指標である機械受注(船舶・電力を除く民需)の5月は、前月比+5.9%と2ヶ月連続のプラス。非製造業が▲1.8%に減少したが、製造業が同+15.3%と4ヶ月ぶりの増加となつた。企業の設備投資意欲の強さが確認された。

# 鉱工業生産①: IT関連財の在庫は依然高水準

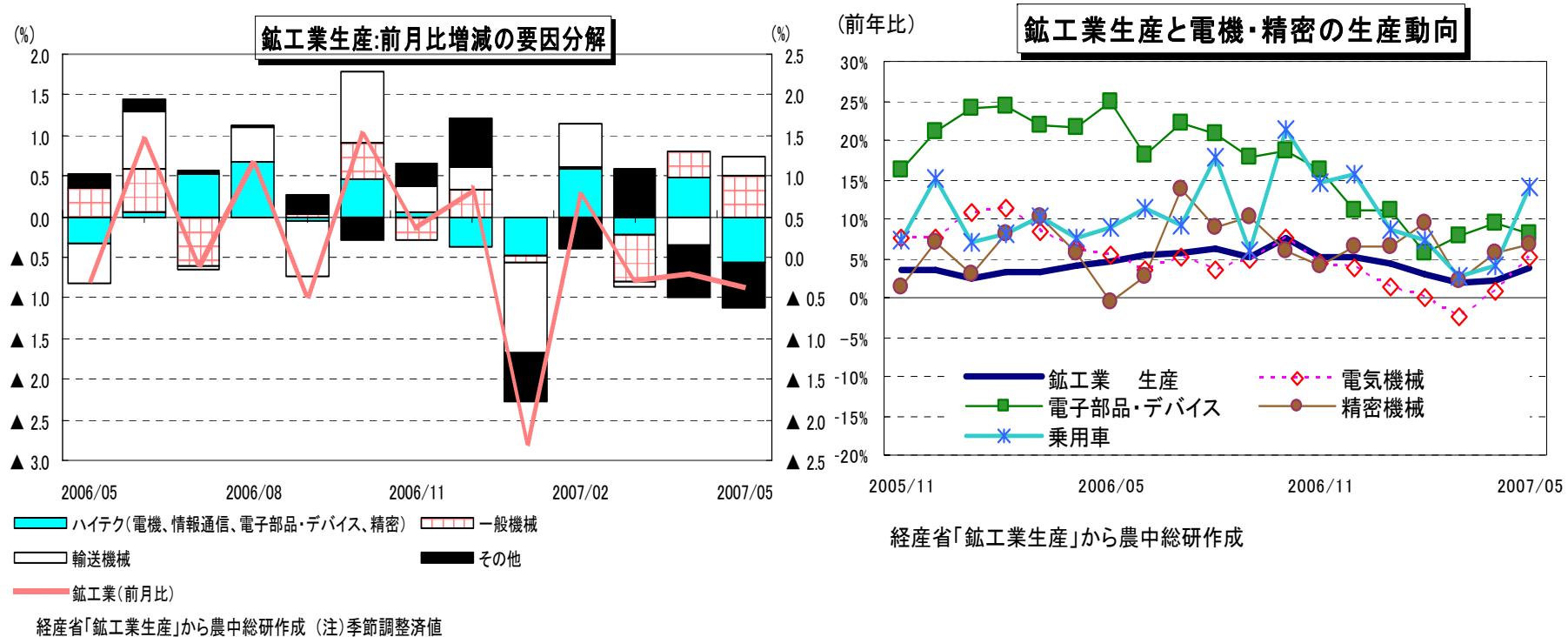


資料 経済産業省「鉱工業生産」

(注) 予測は、製造工業生産予測調査の当月見込みと翌月見込みの季節調整済増減率

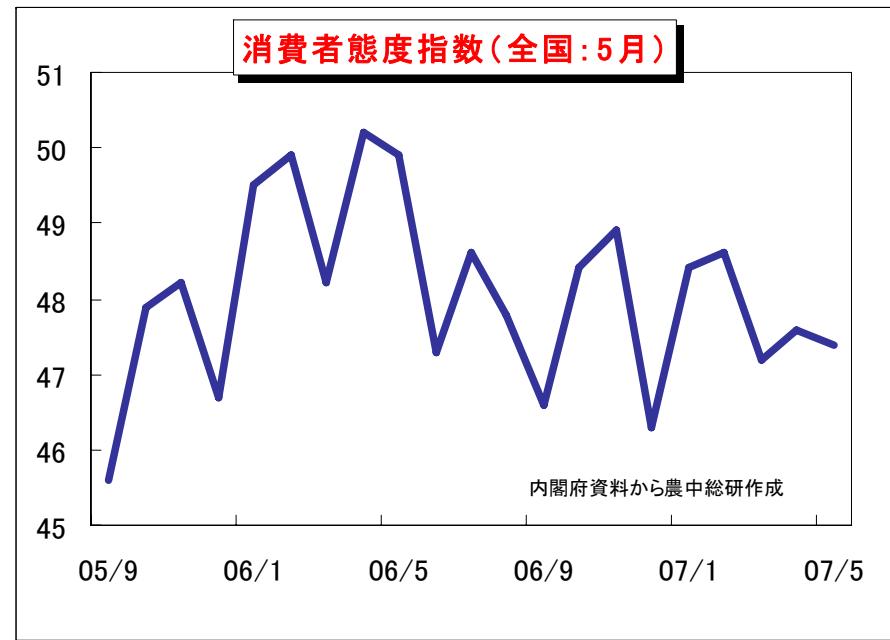
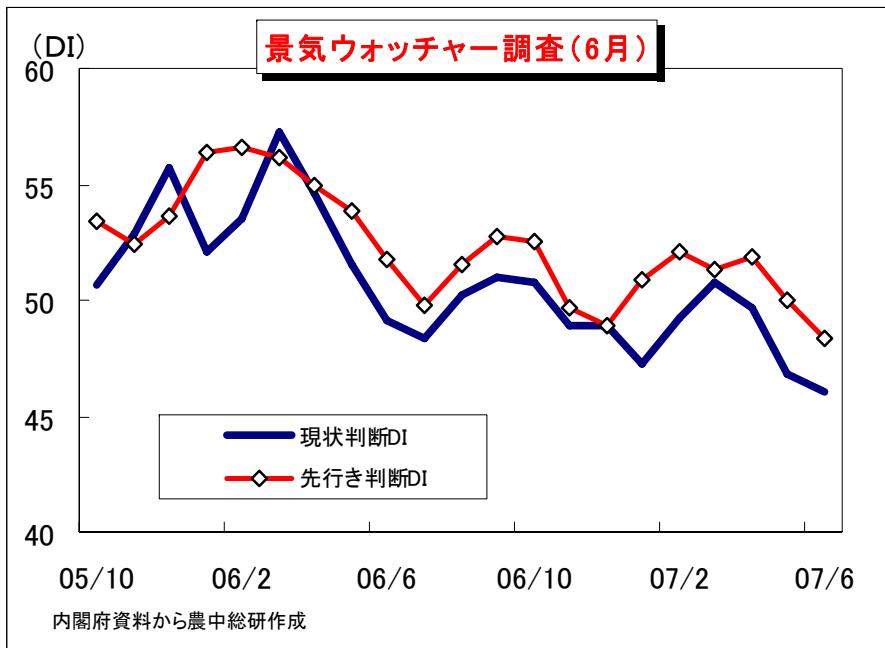
- 5月の鉱工業生産指数(速報)は前月比▲0.4%の107.0と、3ヶ月連続のマイナス。07年に入ってから伸び悩んでいることから、経産省は「緩やかな上昇傾向にある」とこれまでの判断を「横ばい傾向で推移」に下方修正した。
- 製造工業生産予測調査では、先行き6月は同+1.9%、7月は同+1.7%が見込まれている。ただし、このところ、計画の大幅な下方修正が続いている。IT関連財については、在庫が依然高水準であり、その動向には引き続き注意する必要がある。

## 鉱工業生産②:



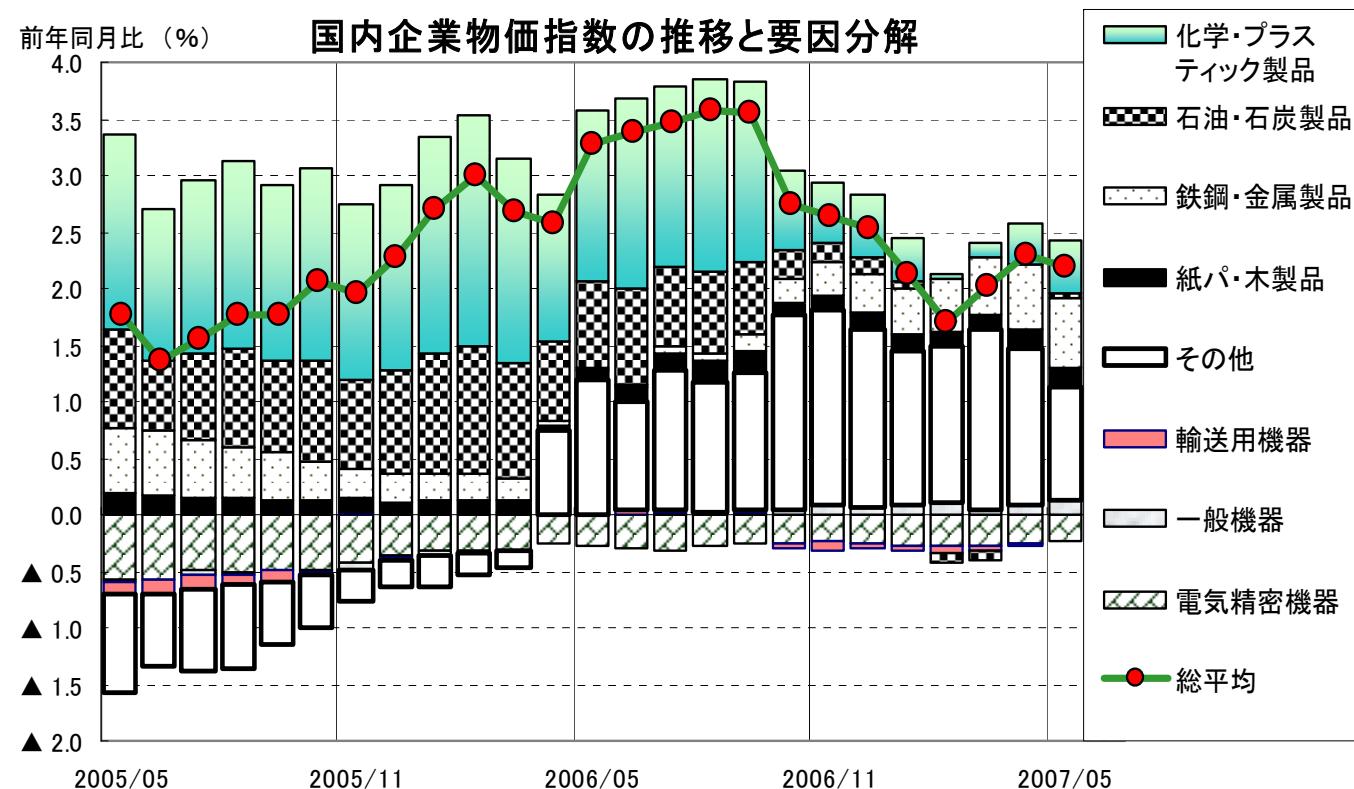
- 業種別の生産指数の動向を見ると、5月は、電子部品・デバイス工業、情報通信機械工業、その他工業等が低下し、一般機械工業、輸送機械工業、プラスチック製品工業等が上昇した。
- 品目別では、モス型半導体集積回路、デジタルカメラ、外部記憶装置、パソコンコンピューター、電子応用玩具などを中心に生産が低下した。
- 自動車生産は持ち直しの兆しがある一方、IT関連の在庫の積み上がり(電子部品・デバイスの在庫は前年比2桁台のプラス基調が継続)が続いており、その動向には注意が必要である。

# 個人消費：消費者マインドは弱い動き



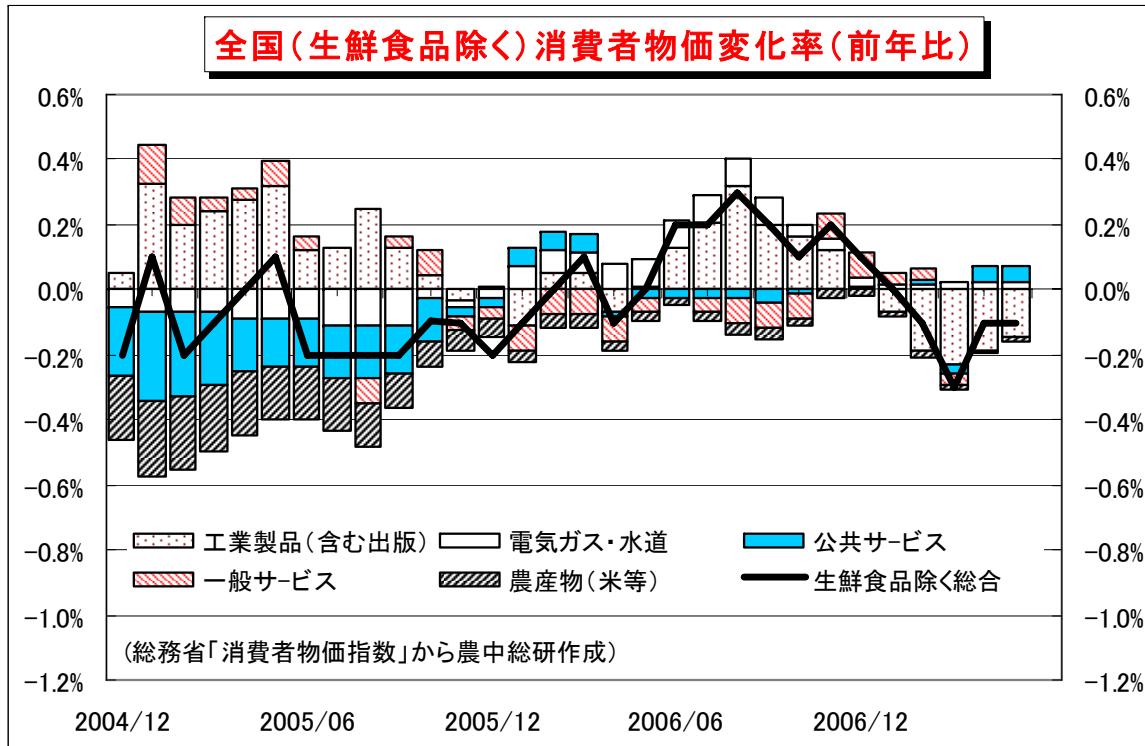
- 6月の景気ウォッチャー・現状判断DIは、前月より0.8pt低い46.0に悪化。景況判断の境となる50を3ヶ月連続で下回った。ガソリン価格の上昇に加え、6月以降の住民税納付額の増加に伴う税負担感の増加を指摘する声もみられ、低下した。また、先行き判断DIも前月よりも1.6pt低い48.4となった。先行きについては、一部食品やガソリン価格の値上げの影響が懸念され家計部門を中心に2ヶ月連続で低下。
- 家計の消費意欲を示す5月の消費者態度指数(全国・総世帯)は47.4と、前月から▲0.2pt低下。耐久消費財の買い時判断、雇用環境の2項目が悪化。また物価見通しでは「上昇する」が9ヶ月ぶりに上昇。

# 企業物価：最終財への価格波及の可能性も



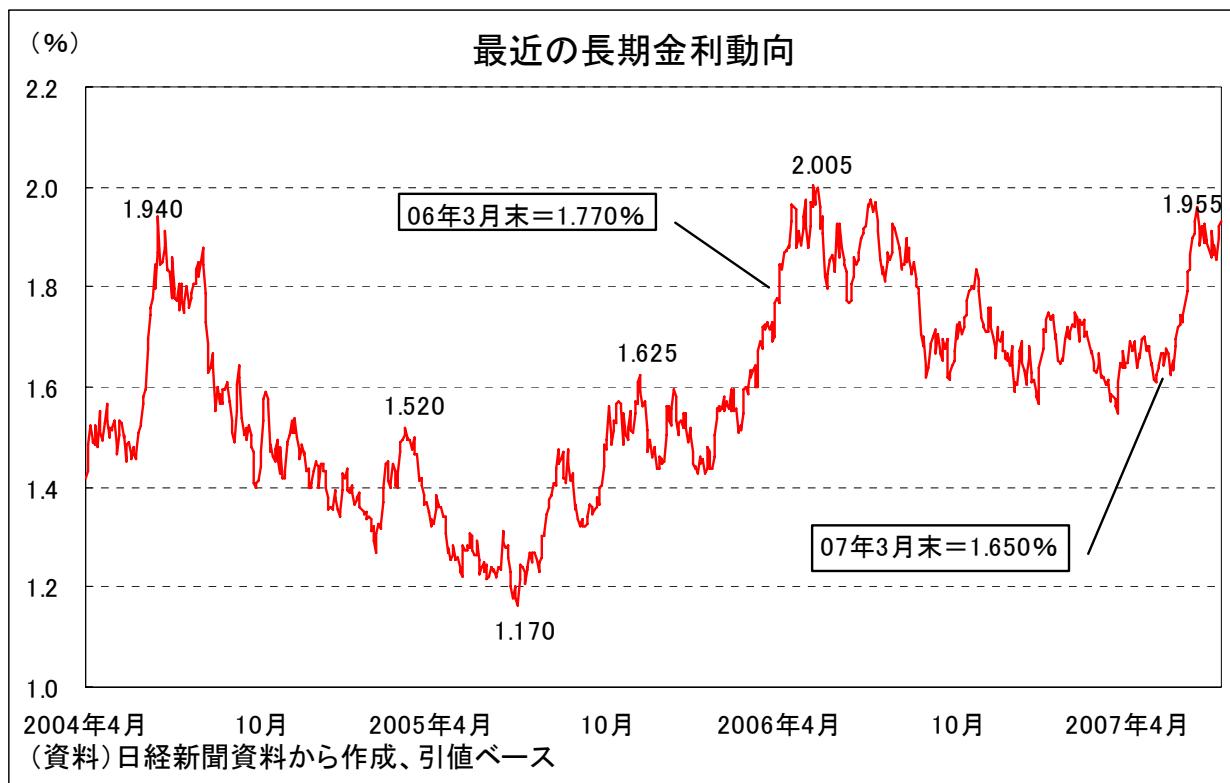
- 5月の企業物価は、前月比+0.5%。ガソリンやプラスチック被覆銅線などの価格上昇が牽引。前年比では+2.2%と39ヶ月連続プラス。
- 内訳では、原油、鉄鋼、非鉄金属などに加え、化学製品や植物性油脂など原油を原料とする製品や原油の代替品の価格も上昇傾向にあり、上昇品目が広がっている。
- 国内生産の消費財は前年比+0.2%と4月分の0.0%からプラス幅が拡大。短観6月調査では販売価格DIが小幅上昇し、価格転嫁が行われていることが示された。川上・川中から川下へ価格波及が進む可能性があるが、しばらくは、素原材料価格上昇の最終財への転嫁は緩やかと見られる。

# 消費者物価：当面は低位安定の見通し



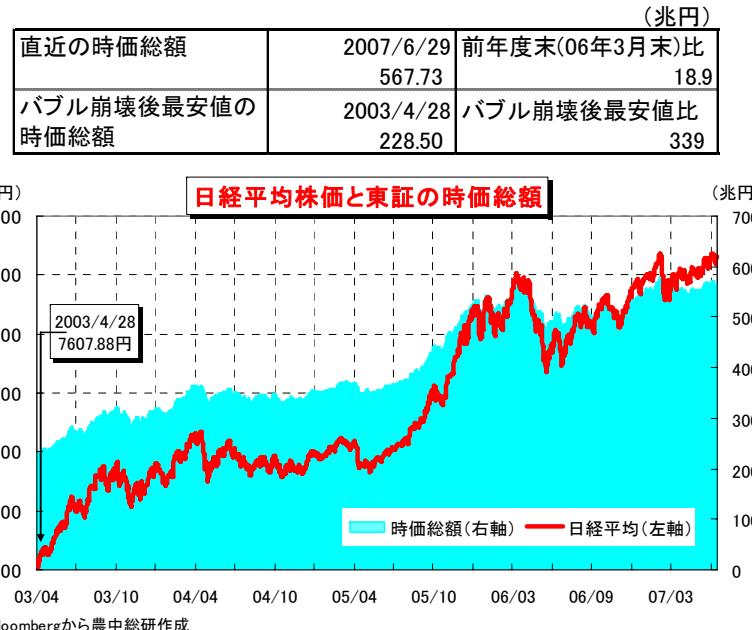
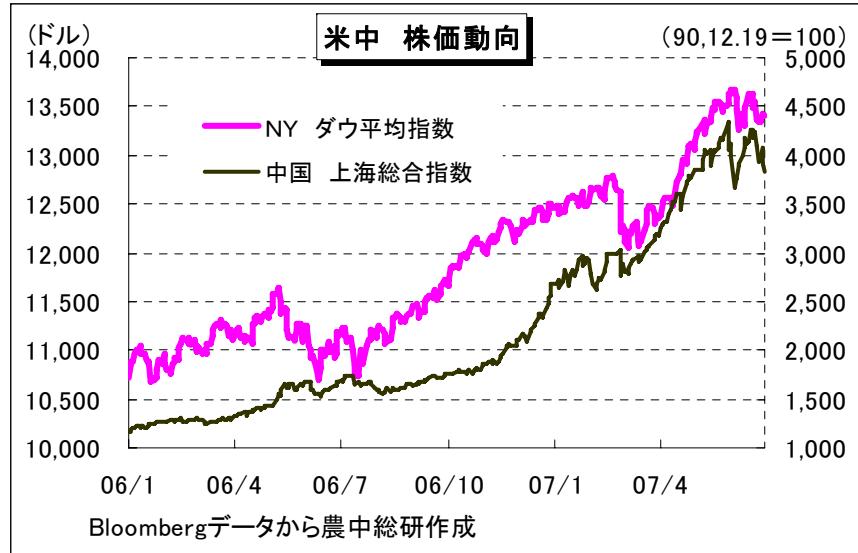
- ・消費者物価は06年8月発表分から基準年次の改訂(2000年基準→2005年基準)などを行った。これに伴って06年1~7月については前年比上昇率が▲0.5%pt程度押し下げられた。
- ・5月の消費者物価(除く生鮮食品)は前年比▲0.1%と、4ヶ月連続で前年比マイナスとなった。パソコンなどの教養娯楽用耐久財や携帯電話の料金値下げなどが押し下げ要因。
- ・なお、欧米方式でのコアCPIである「食料(除く酒類)・エネルギーを除く総合」は前年比▲0.3%。
- ・石油製品価格は、前年比マイナスで推移するとみられているが、原油市況が6月中旬以降、昨年水準に近づいてきていることから、先行きの価格動向には注視が必要。

# 長期金利：新発10年国債利回り一時1.9%台後半に上昇



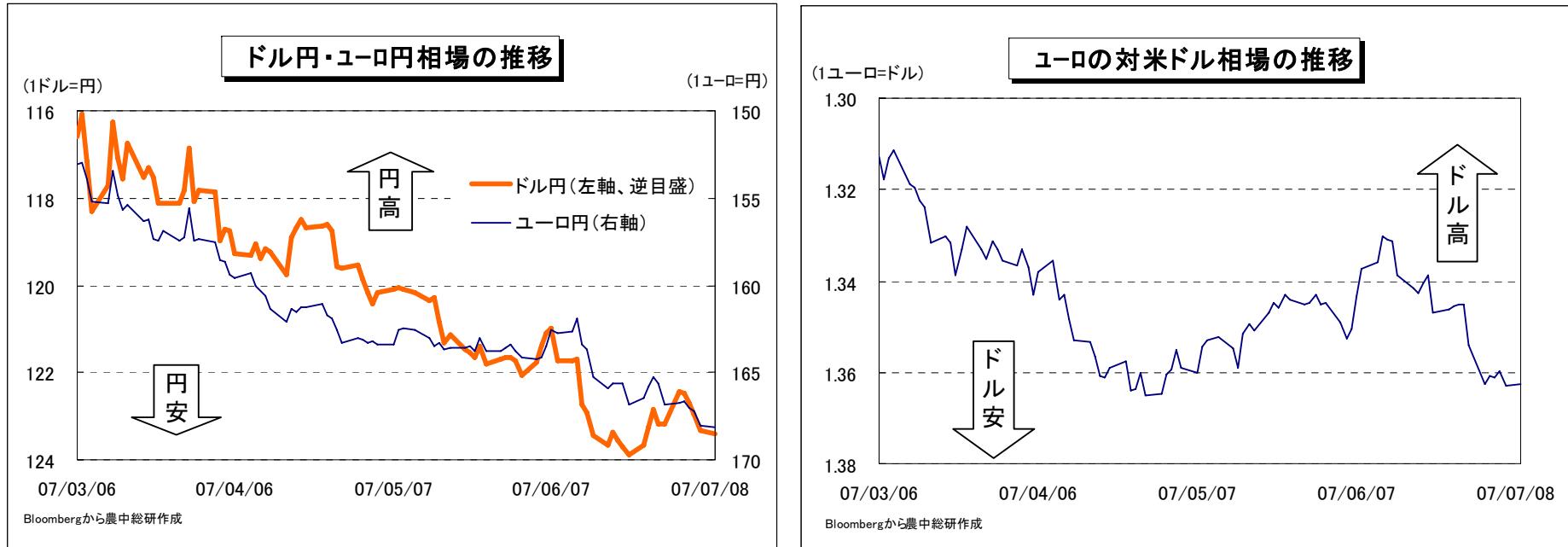
- 長期金利の目安である新発10年国債利回りは、量的緩和政策が解除された06年3月9日以降は急速に上昇し、5月中旬には一時2.0%台を上回る場面もあったが、その後は低下傾向を示した。
- 7月14日のゼロ金利政策解除後も、「今後の金利調節はゆっくりと行う」との日銀からのメッセージを受けて、長期金利は落ち着いた動きとなった。
- 日銀は07年2月21日の金融政策決定会合で0.25%の追加利上げを賛成8反対1で決定。個人消費は緩やかな増加基調にあり、消費者物価も当面ゼロ近傍で推移する可能性が高いものの先行き上昇するとの判断から7ヶ月ぶりの利上げに踏み切ったものの、次の利上げまで時間を要するとの見方から新発10年国債利回りはこれにほとんど反応せず概ね1.6%台で低位安定的に推移した。
- しかし、長期金利は、7月利上げ観測や世界的なインフレ懸念による欧米長期金利の上昇により6月中旬に急激に上昇し、一時1.98%となった。その後は一旦1.9%割れとなったものの、8月利上げを織り込む動きから、長期金利は再び1.9%台に小幅上昇して推移している。

# 株価：日経平均は1万8千円台を固める動き



- 2月の中国株価の大幅下落は、世界同時株安のきっかけの一つとなつたが、その後、中国株は回復し史上最高値を更新。しかし、5月下旬以降、中国政府は投資過熱抑制策を実施したことを受け、調整局面入りしている。
- 6月の米国の株価は、主要企業の好決算やM&A情報などが好感される一方、世界的なインフレ懸念・長期金利上昇からもみあいとなつた。6月下旬には、サブプライム・ローン関連でヘッジ・ファンド破綻や原油価格の上昇が嫌気され、上値を抑えた。
- 日経平均株価は前述の世界同時株安時に1万6,000円台半ばまで下落したが、その後は世界的な株価上昇の流れに沿つて回復基調をたどつた。足元では1万8,000円台を固める動きを見せている。

# 為替動向：内外金利差に着目した資金フローに絡んだ円売り継続



- ・ 外国為替市場では、2月下旬に世界同時株安や米経済指標の弱含みなどを背景に、円キャリー取引解消の観測が強まることからドルが売られ一時的にドル安・円高が進行した。しかし、その後は内外金利差は縮まらないとの見方が根強く再び円安方向となつた。日銀の7月利上げ観測が後退したこともあり、このところは123円台近辺を推移している。
- ・ 一方、対ユーロでも円安傾向が続いている。欧州中央銀行(ECB)は6月に05年12月以来8回目の利上げを実施した。金利差からユーロ高円安が進み、6月下旬には一時1ユーロ=167円台に到達。
- ・ 当面は、これまでと同様、日米欧の金融政策の思惑を材料とした内外金利差要因で動きやすい状況が続くと思われる。

# 政府、日銀の景気判断：判断据え置き

政府と日銀の景況判断

年月	政府月例報告		日銀金融経済月報	
2006年	6月	➡回復している	➡	着実に回復を続けている
	7月	➡回復している	↗	緩やかに拡大している
	8月	➡回復している	➡	緩やかに拡大している
	9月	➡回復している	➡	緩やかに拡大している
	10月	➡回復している	➡	緩やかに拡大している
	11月	➡消費に弱さがみられるものの、回復している	➡	緩やかに拡大している
	12月	➡消費に弱さがみられるものの、回復している	➡	緩やかに拡大している
2007年	1月	➡消費に弱さがみられるものの、回復している	➡	緩やかに拡大している
	2月	➡消費に弱さがみられるものの、回復している	➡	緩やかに拡大している
	3月	➡消費に弱さがみられるものの、回復している	➡	緩やかに拡大している
	4月	➡生産の一部に弱さがみられるものの、回復している	➡	緩やかに拡大している
	5月	➡生産の一部に弱さがみられるものの、回復している	➡	緩やかに拡大している
	6月	➡生産の一部に弱さがみられるものの、回復している	➡	緩やかに拡大している

内閣府「月例経済報告」、日銀「経済月報」より農中総研作成（注）矢印は景気判断の方向を示す。

- 政府は、景気判断を3ヶ月連続で「生産の一部に弱さがみられるものの、回復している」に据え置いた。先行きについては「企業部門の好調さが持続し、これが家計部門へ波及し国内民間需要に支えられた景気回復が続く」との見通し。
- 日銀は景況判断を「緩やかに拡大」と判断を11ヶ月連続で据え置いた。消費者物価（前年比）については「目先、原油価格反落の影響が残ることなどからゼロ%近傍で推移するとみられる」が、より長い目でみると、「プラス基調を続けていく」と予想している。先行きの設備投資については、「引き続き増加する」とした。

# 内外金融市場データ:

日付	長期金利			短期金利				外国為替			内外株価指数				海外金利			その他			
	新発10年国債利回	債先10年物中心限月	金利スワップレート5年物(円一円)仲値	無担保コール翌日物	TIBORユーロ円3ヶ月	LIBORユーロ円3ヶ月	TIBORユーロ円6ヶ月	金利先物(利回り)中心限月	円ドル・スポットレート東京17:00現在	ユーロドル・スポットレート東京17:00現在	ユーロ円・スポットレート東京17:00現在	日経平均(225種)	TOPIX終値	NYダウ工業株30種平均	ナスダック総合	米国財務省証券10年物国債利回	LIBORドル3ヶ月	独国10年物国債利回	NY金先物・期近	WTI期近	OPECバスケット価格
07/05/16	1.665	134.08	1.394	0.516	0.6500	0.666	0.716	0.825	120.37	1.351	163.68	17,529.00	1,711.89	13,487.53	2,547.42	4.710	5.36	4.303	661.50	62.55	64.42
07/05/17	1.625	134.44	1.365	0.517	0.6500	0.667	0.717	0.820	120.95	1.350	163.75	17,498.60	1,707.27	13,476.72	2,539.38	4.752	5.36	4.312	657.20	64.86	65.14
07/05/18	1.635	134.29	1.379	0.516	0.6536	0.667	0.719	0.835	121.30	1.351	163.76	17,399.58	1,695.69	13,556.53	2,558.45	4.800	5.36	4.311	662.00	64.94	65.88
07/05/21	1.655	134.17	1.388	0.520	0.6536	0.668	0.720	0.845	121.29	1.347	163.77	17,556.87	1,710.67	13,542.88	2,578.79	4.782	5.36	4.322	663.80	66.27	66.10
07/05/22	1.635	134.29	1.380	0.523	0.6546	0.668	0.720	0.845	121.46	1.345	163.51	17,680.05	1,731.54	13,539.95	2,588.02	4.824	5.36	4.338	659.90	64.97	66.50
07/05/23	1.680	133.86	1.422	0.526	0.6564	0.668	0.720	0.855	121.83	1.346	163.57	17,705.12	1,740.08	13,525.65	2,577.05	4.847	5.36	4.381	662.60	65.77	66.18
07/05/24	1.695	133.70	1.438	0.524	0.6573	0.671	0.721	0.855	121.45	1.343	163.18	17,696.97	1,738.11	13,441.13	2,537.92	4.839	5.36	4.369	653.30	64.18	66.74
07/05/25	1.720	133.43	1.467	0.519	0.6573	0.674	0.726	0.865	121.36	1.344	163.08	17,481.21	1,715.54	13,507.28	2,557.19	4.857	5.36	4.387	655.30	65.20	66.50
07/05/28	1.725	133.43	1.472	0.527	0.6573	休場	0.728	0.870	121.69	1.345	163.76	17,587.59	1,724.38	休場	休場	4.857	休場	4.392	休場	休場	66.00
07/05/29	1.745	133.17	1.504	0.526	0.6609	0.680	0.732	0.880	121.31	1.345	163.21	17,672.56	1,737.90	13,521.34	2,572.06	4.882	5.36	4.402	657.20	63.15	65.37
07/05/30	1.730	133.22	1.501	0.527	0.6682	0.684	0.736	0.870	121.63	1.343	163.42	17,588.26	1,733.75	13,633.08	2,592.59	4.868	5.36	4.399	653.10	63.49	64.21
07/05/31	1.745	133.17	1.510	0.544	0.6691	0.689	0.738	0.875	121.63	1.345	163.46	17,875.75	1,755.68	13,627.64	2,604.52	4.888	5.36	4.422	661.00	64.01	64.34
07/06/01	1.770	132.86	1.543	0.508	0.6709	0.691	0.740	0.880	121.90	1.345	163.87	17,958.88	1,767.88	13,668.11	2,613.92	4.952	5.36	4.461	671.20	65.08	64.47
07/06/04	1.790	132.74	1.562	0.504	0.6727	0.694	0.743	0.880	122.03	1.349	164.09	17,973.42	1,772.84	13,676.32	2,618.29	4.927	5.36	4.456	670.70	66.21	65.63
07/06/05	1.830	132.40	1.598	0.495	0.6746	0.694	0.744	0.885	121.76	1.353	164.47	18,053.81	1,776.56	13,595.46	2,611.23	4.991	5.36	4.496	669.60	65.61	66.18
07/06/06	1.835	132.47	1.604	0.490	0.6764	0.698	0.747	0.900	121.29	1.350	164.01	18,040.93	1,778.50	13,465.67	2,587.18	4.964	5.36	4.461	669.30	65.96	66.43
07/06/07	1.865	132.24	1.634	0.502	0.6782	0.704	0.751	0.900	121.27	1.343	163.68	18,053.38	1,779.72	13,266.73	2,541.38	5.130	5.36	4.545	660.10	66.93	67.01
07/06/08	1.900	131.87	1.690	0.510	0.6827	0.716	0.755	0.905	120.93	1.337	162.03	17,779.09	1,756.16	13,424.39	2,573.54	5.099	5.36	4.572	645.50	64.76	66.12
07/06/11	1.905	131.89	1.699	0.510	0.6864	0.729	0.758	0.910	121.61	1.336	162.26	17,834.48	1,761.15	13,424.96	2,572.15	5.151	5.36	4.565	654.30	65.97	65.04
07/06/12	1.930	131.42	1.709	0.512	0.6882	0.740	0.761	0.920	121.66	1.330	162.40	17,760.91	1,751.62	13,295.01	2,549.77	5.293	5.36	4.611	648.50	65.35	65.39
07/06/13	1.960	131.05	1.739	0.503	0.6946	0.746	0.767	0.920	122.29	1.331	162.46	17,732.77	1,745.92	13,482.35	2,582.31	5.198	5.36	4.644	648.20	66.26	65.56
07/06/14	1.955	131.12	1.715	0.486	0.6973	0.753	0.772	0.910	122.94	1.331	163.53	17,842.29	1,756.64	13,553.72	2,599.41	5.221	5.36	4.644	651.60	67.65	66.74
07/06/15	1.915	131.30	1.685	0.441	0.6982	0.754	0.775	0.910	123.31	1.339	164.19	17,971.49	1,772.94	13,639.48	2,626.71	5.163	5.36	4.657	654.50	68.00	67.39
07/06/18	1.885	131.64	1.656	0.516	0.7009	0.744	0.780	0.910	123.47	1.342	165.36	18,149.52	1,788.39	13,612.98	2,626.60	5.133	5.36	4.663	655.80	69.09	67.90
07/06/19	1.920	131.35	1.682	0.519	0.7018	0.740	0.782	1.030	123.67	1.343	165.79	18,163.61	1,780.49	13,635.42	2,626.76	5.081	5.36	4.620	660.70	69.10	68.23
07/06/20	1.890	131.70	1.653	0.525	0.7036	0.744	0.785	1.020	123.37	1.341	165.65	18,211.68	1,783.72	13,489.42	2,599.96	5.132	5.36	4.640	656.10	68.19	67.78
07/06/21	1.925	131.49	1.675	0.517	0.7055	0.748	0.787	1.020	123.70	1.339	165.51	18,240.30	1,789.38	13,545.84	2,616.96	5.186	5.36	4.646	650.60	68.65	67.58
07/06/22	1.895	131.67	1.664	0.513	0.7073	0.745	0.788	1.020	124.07	1.347	166.33	18,188.63	1,777.99	13,360.26	2,588.96	5.130	5.36	4.653	653.50	69.14	67.35
07/06/25	1.890	131.70	1.663	0.517	0.7082	0.747	0.791	1.010	123.74	1.346	166.37	18,087.48	1,764.87	13,352.05	2,577.08	5.080	5.36	4.622	651.30	69.18	67.28
07/06/26	1.875	131.75	1.659	0.516	0.7100	0.751	0.793	1.010	123.21	1.345	165.74	18,066.11	1,765.87	13,337.66	2,574.16	5.078	5.36	4.602	642.10	67.77	67.43
07/06/27	1.860	131.94	1.645	0.507	0.7127	0.753	0.795	1.010	122.60	1.345	164.65	17,849.28	1,741.08	13,427.73	2,605.35	5.080	5.36	4.547	641.70	68.97	67.28
07/06/28	1.910	131.56	1.682	0.511	0.7255	0.758	0.805	1.015	123.09	1.345	165.57	17,932.27	1,751.12	13,422.28	2,608.37	5.103	5.36	4.566	650.40	69.57	67.58
07/06/29	1.865	132.01	1.643	0.605	0.7291	0.760	0.808	1.005	123.48	1.354	166.04	18,138.36	1,774.88	13,408.62	2,603.23	5.024	5.36	4.574	650.90	70.68	67.88
07/07/02	1.885	131.90	1.653	0.501	0.7300	0.761	0.808	1.015	122.65	1.362	166.37	18,146.30	1,780.36	13,535.43	2,632.30	4.989	5.36	4.511	659.20	71.09	67.64
07/07/03	1.855	131.95	1.651	0.475	0.7300	0.759	0.809	1.015	122.43	1.361	166.52	18,149.90	1,781.86	13,577.30	2,644.95	5.037	5.36	4.562	655.40	71.41	69.55
07/07/04	1.900	131.90	1.658	0.474	0.7309	0.760	0.810	1.015	122.37	1.361	166.69	18,168.72	1,782.44	休場	休場	5.037	5.36	4.604	休場	休場	69.73
07/07/05	1.920	131.60	1.687	0.490	0.7327	0.763	0.812	1.025	122.60	1.360	167.28	18,221.48	1,788.16	13,565.84	2,656.65	5.140	5.36	4.647	650.60	71.81	70.22
07/07/06	1.930	131.45	1.708	0.490	0.7382	0.763	0.815	1.035	123.21	1.363	167.43	18,140.94	1,779.67	13,611.68	2,666.51	5.182	5.36	4.677	654.80	72.81	71.14
07/07/09	1.950	131.31	1.723	0.497	0.7400	0.767	0.817	1.040	123.41	1.363	168.20	18,261.98	1,792.23	13,649.97	2,670.02	5.138	5.36	4.669	662.50	72.19	N.A.
07/07/10																					

(Bloomberg データから作成)



# 農林中金総合研究所

無断転載を禁ず。本資料は情報提供のみを目的に作成されたものです。投資のご判断等はご自身の責任でお願いいたします。

©2007 Norinchukin Research Institute Co.,Ltd

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-3

(株)農林中金総合研究所 調査第2部

TEL 03-3243-7366